

みずほCustomer Desk Report 2020/02/03 号(As of 2020/01/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.07
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.89	1.1029	120.12	1.3085	0.6707
SYD-NY High	109.14	1.1096	120.40	1.3210	0.6729
SYD-NY Low	108.31	1.1017	120.03	1.3085	0.6683
NY 5:00 PM	108.32	1.1094	120.19	1.3204	0.6686
NY DOW	28,256.03	▲ 603.41	日本2年債	-0.160	▲ 1.00bp
NASDAQ	9,150.94	▲ 148.00	日本10年債	-0.070	▲ 1.00bp
S&P	3,225.52	▲ 58.14	米国2年債	1.3182	▲ 9.56bp
日経平均	23,205.18	227.43	米国5年債	1.3142	▲ 9.42bp
TOPIX	1,684.44	9.67	米国10年債	1.5043	▲ 8.56bp
シカゴ日経先物	22,730.00	▲ 480.00	独10年債	-0.4355	▲ 2.90bp
ロンドンFT	7,286.01	▲ 95.95	英10年債	0.5230	▲ 1.80bp
DAX	12,981.97	▲ 175.15	豪10年債	0.9535	▲ 0.45bp
ハンセン指数	26,312.63	▲ 136.50	USDJPY 1M Vol	5.81	0.34%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.90	0.37%
NY金	1,587.90	▲ 1.30	USDJPY 6M Vol	5.98	0.26%
WTI	51.56	▲ 0.58	USDJPY 1M 25RR	-1.53	Yen Call Over
CRB指数	170.31	▲ 0.83	EURJPY 3M Vol	6.39	0.27%
ドルインデックス	97.39	▲ 0.48	EURJPY 6M Vol	6.40	0.13%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	08:30	日 東京コアCPI	1月 0.7%	0.8%
	10:00	中 製造業PMI	1月 50	50
	10:00	中 非製造業PMI	1月 54.1	53
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	4Q A 0.1%/1%	0.2%/1.1%
	22:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	12月 0.3%/1.6%	0.2%/1.6%
2月1日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 99.8	99.1

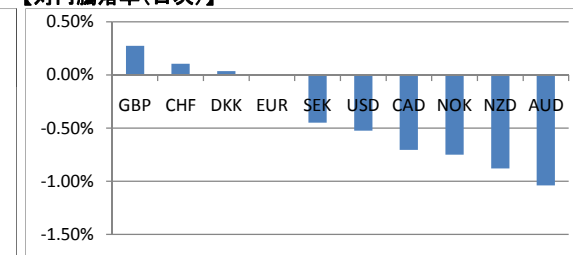
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月3日	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	1月 45.2	45.2
2月4日	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 48.5	47.8
	06:00	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新型コロナウイルスの震源地、中国の影響は？

一旦WHOが緊急事態宣言をしたことをもって終息に向かうと見られた新型コロナウイルスだが、先週末の欧米株式市場は大幅下落してVIXも18台に浮上。金融市場の警戒感、本日3日春節明けで再開する中国市場を前に非常に高まっている。中国PBOC(中央銀行)が18兆円規模の資金供給を行うとしているが、その対応の評価が試される週初となる。好調な企業決算が続くようであれば市場のサポートとなるものの、先行きを見るセンチメント系の経済指標の重要度・影響力が増していくと思われる。今週は米1月ISM製造業景況指数など多くの発表を控えており、その結果次第で一段と下押しする場面にも警戒したいところ。しかし、実体経済への悪影響の規模がはっきりと見通せないことから、ある程度下がったところからは買い戻されると見ており、1月安値の107.65を前に買い戻しが入るかが注目。一方、ユーロは上値の重い展開を予想。前回ECB理事会ではラガルド新総裁のもと今後の金融政策の方針について、様々な検証を開始することが明らかとなった。本検証は1年近い時間をかけて行われる予定で、今後のECBの動向によってユーロ相場も大きく影響されると思われる、その動向には注目したい。また他通貨と同じく新型コロナウイルス関連の報道によってもユーロ/ドルの上値が重くなる可能性があり、注意を払いたい。今週は3日にユーロ圏1月製造業PMI、4日にユーロ圏12月PPI、5日にユーロ圏1月サービス業PMIが予定されている。特に3日の製造業PMIについては好不況の節目である50を長らく下回っている状況だったが、前回公表分では底入れの兆しが見えており、引続いて景況感が回復しているかに注目が集まる。ただし、基本的には新型コロナウイルスによる懸念や他地域と比べ弱いファンダメンタルズが重しとなり、上値の重い展開を予想する。(谷鋪・岡本)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷鋪
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
13	7

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。